

杏林大学大学院保健学研究科
平成26年度春学期研究報告会プログラム

7月18日(金) 8F大会議室

在学生の研究報告:修士は発表10分、質疑7分(計17分)／博士は発表15分、質疑10分(計25分)

時間	演者	分野	指導教員	題名	座長	
大瀧研究科長 開会の辞						
9:03-9:20	必修3S	長島 泉	リハビリテーション科学	下田教授	手の心的回転課題遂行に年齢が及ぼす影響	八並教授
9:20-9:37	必修3S	前田 直	リハビリテーション科学	森田(千)教授	書字動作における筋活動量の経時的プロフィールによる定量的評価	八並教授
9:37-10:02	保博5S	三浦 雅文	リハビリテーション科学	齋藤(昭)教授	超音波画像解析装置を用いた正中神経の機械的特性の解析	八並教授
10:02-10:27	保博5S	藤澤 祐基	リハビリテーション科学	潮見教授	小脳性運動失調症の3次元書字運動解析	八並教授
10:27-10:52	保博3S	三宅 英司	リハビリテーション科学	八並教授	バドミントン選手の障害に関する縦断的調査と障害に影響を及ぼす身体的要因の検討	八並教授
休憩						
11:00-11:17	必修3S	久米 梢子	救急救命学	和田教授	二次救急病院に勤務する救急救命士に対する評価	川村教授
11:17-11:34	必修3S	大谷 正紀	救急救命学	和田教授	死体血でのアセトアルデヒド濃度測定の意味について	川村教授
11:34-11:51	必修3S	星原 卓弥	臨床工学	嶋津教授	右心補助用カテーテルポンプの開発に関する研究	四倉教授
11:51-12:08	必修3S	原田 晋太郎	臨床工学	嶋津教授	医療機器稼働状況の遠隔モニタリングシステムの開発	四倉教授
昼休み						
13:15-13:32	必修3S	五十嵐 友	臨床工学	副島教授	血液透析における実血流量計測法に関する実験的研究	四倉教授
13:32-13:49	必修3S	山下 大輔	臨床工学	嶋津教授	多機能携帯機器を用いた医療機器管理システムの開発	四倉教授
13:49-14:06	必修3S	大城 直美	リハビリテーション科学	丹羽教授	糖尿病ラットにおける腹壁筋を支配する運動ニューロンの形態について	川村教授
14:06-14:31	保博3S	島田 正亮	保健学	大瀧教授	児童養護施設における措置変更に関与する要因と職員への心理的影響について	川村教授
14:31-14:56	保博5S	大貫 雅也	臨床工学	嶋津教授	カスケード血液ポンプを用いた完全人工心臓の開発に関する研究	四倉教授
14:56-15:21	保博5S	木暮 英輝	臨床工学	嶋津教授	生体電気インピーダンス法による呼吸機能計測と評価に関する研究	四倉教授